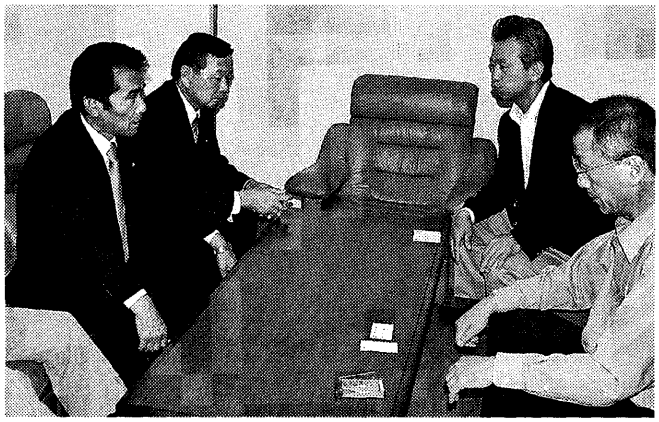
「東海」削除

琴浦町長ら民団に謝罪

原状回復、善後策を検討



日韓友好交流の説明碑「東海」削除で、民団側に謝罪する田中町長（左から２人目）と福本議長（左）＝18日、鳥取市の民団本部

琴浦町が日韓友好交流公園「風の丘」（同町別所）の説明碑から「東海」を削除した問題で、民団鳥取県本部から原状回復を求められている琴浦町は十八日、田中満雄町長らが鳥取市行徳二丁目の同本部を訪れて陳謝した。

同町は同日、町議会全員協議会を開き、田中町長が議会に対して削除問題の経緯を説明。交流推進の方針を確認して、田中町長、福本宗敏議長ら七人が謝罪のため同本部に向かった。

非公開の会談を終えた田中町長は、「軽率で配慮が足りなかったと正式に謝罪した。記念碑の原状回復については、いろいろな選択肢があり、碑の作り変えを視野に入れ、議会にも相談して考えたい。交流はこれまで以上に続けていこうという話をして、了解をいただいた」と善後策を講じる考えを語った。

また、同本部の薛幸夫（ソル・ヘンブ）団長は「日韓交流に携わる人の思いを踏みにじった行為に対する謝罪の対象は町民や県民のはずだが、謝罪の意は十分に伝わった。原状回復を求める抗議文のスタンスは変わっていない。これからいい方向に持っていくということなので期待している。国際交流はお互いに協力を確認した」と述べた。

江原道が県に「憂慮」の文書

琴浦町の「東海」削除問題で、県が交流している韓国江原道から十五日付で関係を憂慮する内容の表現が盛り込まれた文書が県に届いた。

ファクスによる文書で、江原道国際協力室の金鳳吉（キム・ボンギル）室長が送り主。県の衣笠克則文化観光局長が就任あいさつで送った手紙の返事だった。

削除については「両地域では憂慮と自省の声が上がった。十三年を越えて続けられている鳥取県と江原道の深い友好が色あせないように格別な関心と注意を期待している」などと記されている。

また、衣笠局長は今年七月に県内で開かれる北東アジア地方政府サミット実務者代表者会議への金室長の出席を求めていたが、出欠の返事はなかった。

同問題について、平井伸治県知事は十七日の記者会見で「私がこうするべきだと申し上げることは控えたい。琴浦町が悩んで今も議論している。結果を尊重したい」との見解を示した。

最重点地域・路線

昨年六月に導入された駐車監視員制度で、鳥取県警は十八日、駐車監視員の活動方針を示すガイドラインを六月一日から変更

直し

近（旧県で県警が調査では平均二